

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	給水装置工事主任技術者国家試験費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い道を確認すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第25条の5第1項		関係する計画、通知等	「水道法の一部改正による給水装置工事業者の指定制度等について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	規制緩和の方針に沿った平成8年の水道法改正により指定工事店制度が見直され、給水装置工事主任技術者の国家試験が創設された。本事業は、給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録等を実施することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	免状の交付及び免状交付者情報の記録							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	3	2	2	2	2	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	3	2	2	2	2		
	執行額	1	2	2				
執行率(%)	33.3%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (毎年度)
	免状発行件数/免状申請件数			%	100	100	100	100
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	免状発行件数			件	6071 (7,150)	3870 (7,150)	4706 (7,000)	— (7,000)
単位当たりコスト	355(円/件)		算出根拠	執行額/免状発行件数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医師等国家試験費	2	2					
	計	2	2					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、試験を維持することは広く国民のニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	給水装置工事主任技術者の国家試験であるため、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、試験を維持することは優先度が高い。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	一部少額随意契約があるが、業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定は妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	免状発行件数によるところがあるが、適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	支出先・使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	記録した免状交付者に係る情報は、次年度以降の再交付申請時等にも活用できるよう、管理の徹底がなされており、成果目標も達成していることから、実行性の高い手段といえる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	免状申請件数は毎年変動があるが、概ね見込みに見合ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物は水道の給水工事の規制緩和として十分に活用されている。		
重複排除			-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	H24年度においては、支出先・使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できている。免許発行件数は、H24年度は4,706件と昨年度よりは増加しているものの活動見込みには達していないが、年度変動があるものであり概ね見込みに見合ったものであると言える。本事業は、給水装置工事主任技術者の国家資格によって規制を全国统一のものとし、水道事業者の活動を円滑にする等、水道の給水装置工事の規制緩和に資する事業であり、試験を維持するために必要不可欠な事業であり、今後も適正かつ効率的な執行に努めることとする。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録等を行うための経費であるが、経費の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	341	平成23年	309	平成24年	268

厚生労働省 2百万円

給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録

【少額随契】

A. (独)国立印刷局 0.4百万円

給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者の免状交付台帳、申請台帳、免状証の作成

【一般競入札】

B. センコービジネスサポート(株) 1.3百万円

給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)国立印刷局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費等	免状交付台帳、申請台帳、免状証の作成	0.4			
計		0.4	計		0
B.センコービジネスサポート(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
電算処理費等	データベース構築、免状印字	1.1			
人件費	外字作成、免状発送、有資格者データ作成	0.1			
その他	免状用厚紙、運送費等	0.1			
計		1.3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立印刷局	免状交付台帳、申請台帳、免状証の作成	0.4	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	センコービジネスサポート(株)	給水装置工事主任技術者の国家試験の合格者への免状の交付及び免状交付者に係る情報の記録	1.3	1	84%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					